

平成 27 年 7 月 6 日

各 位

株式会社 J-ARM
DSファーマアニマルヘルス株式会社

J-ARM とDSファーマアニマルヘルスの細胞医療事業に関する提携のお知らせ
～動物用細胞医薬品の早期製造販売承認取得に向けた共同臨床開発～

株式会社 J-ARM(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:岡田邦彦、以下、「J-ARM」)とDSファーマアニマルヘルス株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:中島 毅、以下、「DSファーマアニマルヘルス」)は、この度、動物用の細胞医療事業に関する国内における共同臨床開発契約を締結しましたので、お知らせします。

本共同臨床開発契約に基づき、両社は、医薬品医療機器等法の下で犬の間葉系幹細胞を用いた細胞医薬品の早期の製造販売承認取得を目指します。

本共同臨床開発の方針、開発計画などについては両社で構成する共同開発委員会で決定します。J-ARM はこれまでに動物の自家細胞治療において豊富な実績を有する一方、DSファーマアニマルヘルスは動物用医薬品の製品開発・製造・販売を一貫して行ってきた背景があります。本共同臨床開発によって、両社が蓄積してきたノウハウを持ち寄ることで、先進的な細胞医薬品の開発に要する期間の大幅な短縮が期待されます。

DSファーマアニマルヘルスが細胞医薬品の開発費用を負担し、国内における犬の間葉系幹細胞による細胞医薬品を用いて、犬の炎症を伴う難治性疾患などを対象とした臨床開発を両社が共同で行います。製造販売承認の取得はDSファーマアニマルヘルスが行い、J-ARM は販売額に応じたロイヤリティーを受け取ることで合意しています。

両社は、従来の治療では十分な効果が得られなかった疾患に罹患している犬に対して、一刻も早く有用な治療法を実現するために、相互に協力して間葉系幹細胞を用いた細胞医薬品の製品化に取り組む所存です。

以 上

(ご参考)

共同開発契約の対象:

- (1) 製品 : 犬の間葉系幹細胞を用いた細胞医薬品
- (2) 適応症 : 両社で協議して決定します
- (3) 地域 : 日本

株式会社J-ARMについて

株式会社J-ARM(Japan Animal Regenerative Medicine)は、獣医療における再生医療の普及と発展を目的として2006年に名古屋大学医学部発のベンチャー企業として、企業活動を始めました。がんに対する活性化リンパ球療法や樹状細胞療法、脊髄損傷などに対する骨髄幹細胞・脂肪幹細胞療法などの高度先進医療を利用して、これまで治療を諦めざるを得なかった症例に対する新たな治療法を研究し、獣医師の先生方に使用して頂くことを目的とした培養プロトコール移管、キット販売、培養トレーニングなどの業務を行っています。

DSファーマアニマルヘルス株式会社について

DSファーマアニマルヘルス株式会社は、動物たちの健康を支える企業として、大日本住友製薬株式会社の動物薬事業部門が会社分割の手続きを経て独立し2010年7月に設立されました。ペット向けに獣医師の処方が必要な要指示医薬品を中心とする動物用医薬品や、ヒルズ特別療法食(米国ヒルズ社が製造する病気のペットの食事管理を目的として小動物の臨床栄養学に基づいて開発されたペットフード)および健康維持食を動物病院向けに販売するとともに、家畜および水産養殖向け製品を販売しています。

お問い合わせ先
株式会社 J-ARM 代表
TEL: 06-7890-5959

DSファーマアニマルヘルス株式会社 人事部 広報担当
TEL: 06-4705-8061